

令和6年度

地域とともにある学校づくり

本町小学校 6年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名： 明日への扉～柳沢のまちのこれからについて考えよう～
(活動名)

ねらい：

- ・地域活性のための計画を立て、実践する活動を通して、地域の人々の多様な願いや思いを理解するとともに、地域の一員として自分ができることを考えることができる。
- また、積極的に社会に参画しようとする態度を育てる。



【11月25日・27日】
「地域の方々の仕事について知ろう」

地域の方々6名から、仕事内容や、仕事をする上で大切にしていることなどをお話していただきました。ICT機器や実物を用いた説明で、様々な仕事について知ることができました。同時に、働くことは大変だけれどお客様に感謝されるとうれしいなど、やりがいについても理解を深めることができました。



【1月27日】
「柳沢のまちのこれからについて考えよう」

自分たちが暮らす柳沢のまちの将来について、みんなで考えました。まずは、柳沢のまちのいいところ、足りないところについてみんなで確認しました。そして、「人が優しい」というよいところはなくさずに、まちは発展していったほしいという自分たちが住むまちへの思いを共有することができました。

【1月31日】

「将来の柳沢のまちのために、自分たちができることを考えよう。」

柳沢のまち10年後にはこうなってほしい！

- ・前は今は今と変わらずに大人にも子どもにも優しくして、町も昔(今)の雰囲気を残しつつも今よりもより生活しやすい町になってほしい!!
- ・今も続けている伝統を10年後も残してほしい!
- ・ゴミ箱を増やしてほしい。
- ・理由
・今みたいに優しい人が10年後もいたら今よりも柳沢が暮らしやすい町になったからです。
- ・昔から今まで残っている伝統を継承するのは少し悲しいからです。
- ・よくタバコやお菓子のゴミなどが落ちてくるから。



そのために自分ができること

- ・10年後も優しい人たちで柳沢があふれるように、まず自分から周りの人にやさしくする。
- ・近所の人に何かをお客付けしたり、一緒に話したりする。
- ・柳沢のイベントになるべく参加する。
- ・ゴミ拾いをする。



柳沢のまちが、住民にとって幸せに暮らせるまちであるために自分ができることを考えました。これまでに調べた仕事のことも関連付けて、「イラストレーターになって、まちのゆるキャラをつくって盛り上げる」「鉄道会社で働き、ラッピング列車をつくって柳沢のいいところをアピールする。」など具体的に考案し、ICT機器を活用してまとめることができました。

まとめ

1年間を通してICT機器を活用しながら総合的な学習の時間を進めてきました。1学期には興味のある職業について調べ、仕事の内容について学習しました。2学期にはさらに興味のある仕事について詳しく、また、その職業に就くために必要なプロセスを調べました。また、どんな職業でも、コミュニケーション能力の大切さや、相手を思いやる気持ちが大切だということを知りました。そして、3学期には自分が住む地域を活性化させるための方策を考えました。これを通して、働くことに対する理解や自己理解を深め、さらに社会参画意識を高めていければと思います。